

## 東日本大震災遺構・伝承館の入館状況について

## 1 入館者数

期 間	開館日数	入館者数
平成31年3月10日～令和元年5月6日 (うちGW期間 平成31年4月27日～令和元年5月6日)	51日 (10日)	23,270人 (11,982人)
【参考】開館1年目の想定入館者数		75,000人
【参考】開館5年目の想定入館者数		51,000人

単位：人

区 分		人数（うち割引対象者数）	左記の割合
個 人	大 人	19,007 (464)	81.7%
	高 校 生	621 (2)	2.6%
	小・中学生	2,066 (30)	8.9%
	小 計	21,694 (496)	93.2%
団 体	大 人	1,417 (687)	6.1%
	高 校 生	159 (71)	0.7%
	小・中学生	0 (0)	0.0%
	小 計	1,576 (758)	6.8%
合 計		23,270 (1,259)	100.0%

※1日平均人数 456人（平日201人，土日祝日744人，GW期間1,198人）

※1日当たり最大入館者数 1,639人（令和元年5月3日）

※語り部ガイド利用人数 27団体，8個人 586人

※入館料合計額 12,632,300円

※割引対象 身体障害者手帳持参の方，30人以上の団体等

## 2 入館者アンケートの結果（平成31年3月10日～平成31年4月30日） 記入者数475人

## (1) どこから（所在地）

単位：人

区分	市 内	県 内 (市内を除く)	県 外	計
男性	40	40	175	255
女性	21	42	157	220
合計	61	82	332	475
割合	12.8%	17.3%	69.9%	100.0%

## (2) 誰と(同伴者)

単位:人

区分	一人	家族	友人	会社	その他	計
男性	62	100	13	44	36	255
女性	31	139	23	13	14	220
合計	93	239	36	57	50	475
割合	19.6%	50.3%	7.6%	12.0%	10.5%	100.0%

## (3) 満足度(施設全体)

単位:人

区分	大変良い	良い	あまり良くない	良くない	計
男性	192	59	4	0	255
女性	187	33	0	0	220
合計	379	92	4	0	475
割合	79.8%	19.4%	0.8%	0.0%	100.0%

## (4) 来館するきっかけ(情報閲覧方法) ※複数回答可

単位:人

区分	インターネット・SNS	テレビラジオ	新聞	雑誌	友人知人	観光案内所	その他(ホテル等)	計
男性	74	94	37	2	42	7	23	279
女性	54	96	23	1	46	9	16	245
合計	128	190	60	3	88	16	39	524
割合	24.4%	36.3%	11.5%	0.5%	16.8%	3.1%	7.4%	100.0%

## 3 誘客促進の取組について

## (1) 実施済または実施中の取組

## ①旅行会社等への営業

旅行会社をはじめ、全国の自治体や学校、企業、防災団体等に対し、案内リーフレットを送付するとともに、旅行会社等への個別訪問を展開中。

## ②イベント・広報活動の充実

「けせんぬま震災伝承ネットワーク」による「語り部ガイド交流会(無料)」や、母校が震災遺構となった気仙沼向洋高校生徒によるスイーツの特別販売会などのイベントを企画するなどし、マスメディアやSNS等を通じた広報活動を展開中。

## ③誘導看板の設置

国土交通省東北地方整備局と連携し、大谷海岸IC出口や国道45号岩井崎入口などに誘導看板を設置。

## (2) 今後、実施する取組

## ①震災遺構・伝承館展示内容の充実

気象庁や東北大学災害科学国際研究所の協力をいただきながら、科学的視点に基づく地震・津波のメカニズムや過去の津波との比較、地震・津波の予知・観測システムの現状などを紹介する展示パネル等を設置し、展示内容の充実を図る。※復興基金等を財源に、今後の補正対応を想定。

## ②その他関係機関・施設の推進

市内観光施設(道の駅「大谷海岸」や海の市、リアスアーク美術館など)をはじめ、国や県、他地域の震災伝承施設等と連携し、広報・誘客活動を展開する。